

集会アピール

菅首相は日本学術会議の会員候補のうち6名の任命を拒否しました。これは日本学術会議法に違反するだけでなく、憲法23条の「学問の自由」を侵害する違法行為です。任命拒否の理由も決定過程も明らかにされていません。6名の任命拒否は、この6名だけの問題ではなく、日本の科学者の代表である日本学術会議全体の問題であり、さらには「思想および良心の自由」、「表現の自由」にも関わる日本国民全体の問題です。

日本学術会議は菅首相に対して「第25期新規会員任命に関する要望書」を提出し、任命拒否の理由の説明と6名の速やかな任命を求めています。菅首相はこの要望書に対して黙殺を続けるだけでなく、国会ではこの問題に対する野党の追及に対して一切誠実な答弁をしようとしていません。

本日の集会に集まった私たちは、菅首相が日本学術会議の要望書にある6名の早急な任命と任命拒否の理由を誠実に説明することを強く望むものです。また、私たち参加者は、権力による分断を許さない日本学術会議の姿勢を支持し、同会議が日本学術会議法とその目的を貫かれることを、全力で支援することを表明します。

2020年11月21日

集会「学術会議会員の任命拒否問題と学問の自由」参加者一同